

ハナちゃんレター

明石市立明石商業高等学校 国際会計科

発行責任者 西真未

十二単着付け体験

6月23日(日)午後、本校留学生のハナちゃん、明石文化博物館に、ガーンネルさんが十二単や浴衣の好きなハナちゃん

体験をしました。着物を着た。昨年度の本校留学生のケイトリン

は、十二単を着ることをとても楽しみにしていました。初めて見る十二単に時おり「綺麗」と言いながら、3人の方に手際よく着せて頂いてとても満足そうでした。昨年度の本

校留学生のケイトリンは、十二単も日本での印象的な思い出の1つにこの十二単体験を挙げており、今回ハナちゃんもステキな思い出を作ることが出来たと思います。ぜひニュージールランドへ帰ったら、ご家族やお友達に今回の体験のお話をしてあげてください!



十二単とは

にえ
じゅと
ひ

平安時代の女性用の装束(しょうぞく)で、着物の重さは全部で約20kgあり、四季に応じた名称の「かさね」を用いた。また、宮中では女性の「束帯(そくたい)」に当たる装束として「物(もの)具(ぐ)装束」が平安後期まで存在したが、女性が公儀の場に出るのを嫌う風潮もあって、着用される機会が減り廃(すた)れた。十二単の色目(いろめ)については主に季節感を取り入れた組み合わせになっていて、春夏秋冬・または植物や色単体のグラデーションによりおびただしい数の種類があり、着用の季節や行

事が厳密に定められていたという。(WIKIより抜粋)

